



立川ひろとしの議会報告

平成21年7月10日
後援会報 32号
発行：立川ひろとし後援会



会派に所属する事となりました！

後援会の皆様には、日頃から立川ひろとしの議会活動に対しまして、ご理解、ご支援を頂きまして、本当に有難うございます。



これまで約1年半、会派に所属せず、単身で議会活動を行ってきましたが、その間、多くの議員さんと議論をしてきた中で、6/1に 船橋議員、金子議員、秋元議員、早瀬議員と共に「結政会」(ゆうせいかい)を設立しました。

また、今回、委員会の改選が行われ、後半の2年間、産業・建設委員会に所属して活動する事となりました。

今後とも、ご支援をいただけますよう、宜しくお願いいたします。

臨時議会と6月議会のポイントは・・・

今年度当初は、国の景気対策関連の補正予算の成立や、異例の人事院勧告の速やかな行使のため、臨時議会が2回開催されました。6月議会で審議された案件と含めて、以下の内容が可決されました。

- ① 国の景気対策関連の補正予算に伴う、緊急雇用創出事業、ふるさと雇用再生特別基金関連事業の実施のための補正予算
(4/21 平成21年 結城市議会 第1回 臨時会 にて)
- ② 人事院勧告に伴う夏季 期末・勤勉手当の削減
(5/29 平成21年 結城市議会 第2回 臨時会 にて)
- ③ ケーブルテレビ会社への出資 等にもなう補正予算
- ④ 議長、副議長、常任委員会、議会運営委員会の改選について
(③④の2案件 平成21年 結城市議会 第2回 定例会 にて)

臨時議会・6月議会の議会審議の中から

■ 議長・副議長・委員会の改選について

● 議長 … 2名立候補による選挙

・ 孝井 恒一 議員 … 11票

・ 船橋 清 議員 … 9票

孝井 恒一 議員が議長に就任

● 副議長 … 2名立候補による選挙

・ 鈴木 孝一 議員 … 11票

・ 中田 松雄 議員 … 9票

鈴木 孝一 議員が副議長に就任

● 常任委員会 … ◎委員長 ○副委員長

| 総務委員会 | 産業・建設委員会 | 教育・福祉委員会 | 議会運営委員会 |
|---------|--------------|----------|---------|
| ◎ 金子 健二 | ◎ 池田 二男 | ◎ 中田 文雄 | ◎ 須藤 一夫 |
| ○ 早瀬 悦弘 | ○ 中条 美智子 | ○ 稲葉 里子 | ○ 塚原 林吉 |
| 黒川 充夫 | <u>立川 博敏</u> | 秋元 昇 | 船橋 清 |
| 塚原 林吉 | 大木 作次 | 中田 松雄 | 鈴木 義雄 |
| 孝井 恒一 | 鈴木 孝一 | 船橋 清 | 平塚 明 |
| 鈴木 義雄 | 植木 勇 | 須藤 一夫 | 前場 文夫 |
| 前場 文夫 | | 平塚 明 | 植木 勇 |

今回の改選で、私は、今まで経験の無かった産業・建設委員会に所属する事となり、全ての常任委員会を経験することができることになりました。今後2年間、今まで経験のない無知の分野である農業問題に関心を置きながら勉強をしたいと考えております。

■ 夏季 期末・勤勉手当の削減について

- ・ 人事院勧告により、職員、常勤特別職、市議会議員の期末・勤勉手当を以下のように削減

職員 … 期末手当 0.15ヶ月分 勤勉手当 0.05ヶ月分 削減

市長・副市長・教育長・市議会議員 … 期末手当 0.15ヶ月分 削減

※市長・副市長・教育長・市議会議員に勤勉手当は無い

- ・ 今回の削減の効果は 約 4,300万円

■ 緊急雇用創出事業 及び ふるさと雇用再生特別基金事業

- ・ 国の景気対策のための補正予算による事業の一環で、結城市では約2,694万円が補正予算として計上された

- ・ 実施する事業は以下のとおり



⇒ 市役所 市民課窓口において外国人対応を強化するため要員を確保

⇒ 防犯サポーター一人員を増加し、駅周辺の巡回の強化

⇒ 地産地消の促進・空き店舗対策の促進のため、駅北口に野菜などの直販店を設置

民間団体へ補助する形とし、その団体で店員を雇用する形で創出

⇒ 結城紬の新商品展示販売委託

⇒ 小学校での英語の授業促進ため指導助手を確保

文部科学省では、小学校の英語教育を平成23年度 開始としているが、茨城県では2年前倒して平成21年度より開始

⇒ 市単独で確保している社会人TT 人員の増員

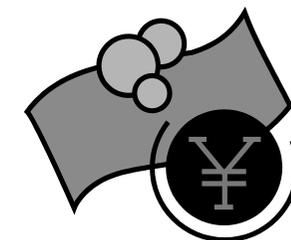
⇒ 幼稚園における預かり保育事業の実施（2幼稚園）

⇒ ゆうき図書館における図書整備人員の増加

新川和江先生が寄贈された1万点の図書の整備

■ 結城市における定額給付金の給付状況

- ・ 19,400世帯が対象（外国人登録者を含む）
- ・ 5/19 第2回目の給付日において16,468世帯（84.7%）へ給付を完了
- ・ 6月の第3回目の給付で、17,900世帯（92.5%）になる見込み



■ ケーブルテレビ会社への出資を決定

- ・ ケーブルテレビ株式会社（栃木県栃木市）へ50万円を出資する事を決定
- ・ ケーブルテレビのための光回線網を結城市内へ設置するにあたり、約7億円の費用がかかり、その1/4を結城市が補助。
- ・ 結城市が補助する額の全額が、景気対策関連事業として国から措置される。（対象事業の企業に出資しておくことによって、措置が受けられる）
- ・ 地上デジタル放送へ完全移行となる2011年7月ごろまでには、ケーブルテレビによる放送が開始される予定。
- ・ ケーブルテレビ、地域コミュニティ情報の放映、インターネット、地震や災害などの速報、光回線網を利用したIP電話 等のサービスが提供される予定。



日々の活動をホームページで報告しています！

ホームページやブログで、日々の活動や、様々な政策、結城市への想いを語っています。過去に発行した後援会報すべて掲載しております。是非ご覧ください！



パソコン <http://www.tacho-net.com/tacho/>

携帯電話 <http://www.tacho-net.com/tacho/i/>

ブログ <http://tacho.blog52.fc2.com/>

たちかわひろとしの一般質問 ダイジェスト！

1. 税収の落ち込みについて

【質問】

- 
- ① 出納閉鎖期間が終了し、概算の数値が出ていると思うが、平成20年度の税収状況はどうなっているか？
 - ② 今年度（平成21年度）の減収見込みについてはどのように考えているのか？
 - ③ 今年度（平成21年度）の当初予算編成時と比べ、悪化する要素は見受けらるか？

【答弁：市長公室長】…①について歳出・歳入の概況を答弁

- 
- ① 平成20年度の一般会計における歳入総額 約155億9000万円、歳出総額 約149億8000万円 繰越一般財源 約1億円。約5億1000万円の黒字決算。

【答弁：市民生活部長】…①について市税・市民税に特化して答弁

- ① 平成20年度 歳入は、市税全体で当初予算額 70億1240万円に対し、収入見込み額 70億6395万円で0.7%増、5155万円の増で、ほぼ当初予算額が確保される見込み。

個人市民税は、当初予算額24億5290万円に対し、収入見込額 24億9074万円、当初予算比1.5%の増、3784万円の増。

法人市民税は、当初予算額7億9340万円に対し、収入見込額 7億346万円で、当初予算比11.3%の減、8994万円の減となる見込み。

法人市民税は景気の低迷から、落ち込みが予想されたので、平成21年第1回 定例会で約1億5000万円の減額補正を行った

【答弁：市長公室長】

- ② （平成21年度 当初予算において）市税全体で3億5500万円 減（5.1% 減）。景気低迷による法人市民税が2億5000万円 減（31.5% 減）、固定資産税が評価替えに伴い1億4300万円 減（4.8% 減）
- ③ 景気悪化による減収を見込んで予算を編成しており、予想外の要因がない限り、（平成21年度の）当初予算で計上した額を確保できる見込み。

2. 市民まちづくり支援センターの設置について

【質問】

- 
- ① 現在までに、支援センターに持たせようとしている具体的な機能について説明願いたい。
 - ② 住民の個々の能力や特技を把握した人材バンクを設立すべきと考えているが、見解を答弁願いたい。

【答弁：市長公室長】

- 
- ① 必要な機能は、情報発信と交流、相談支援機能であると認識している。

情報発信はボランティア団体、生涯学習団体、自治会や町内会に活動の状況を紹介したり、パンフレットスタンドの増加を予定している。市民活動に関する書籍や刊行物を書棚に配架し、今後の充実を図りたい。

交流機能は、市民情報センターが交流の場所としてつくられ、様々なスペースがあるので、今後も積極的に利用促進を図って行きたい。

市民活動に対する相談・支援は協働推進課で実施しているが、活性化を図るためには、拠点施設に相談員を設置し、気軽に対応できるようにすべきと考えているので、検討して行きたい。

- ② 市民が持っている能力や資格、技術を生かすため、人材を把握して登録して人材バンクを設立する事は、協働の街づくりを推進する上で有意義なことであると認識しており、今後検討して行きたい。

3. 結城市の地域資源の再発掘について

【質問】

- 
- ① 前回の質問の際に地域資源の再発掘について「検討する」との答弁であったが、その後の取り組み状況について伺いたい。

【答弁：産業経済部長】

- 
- ① （結城市の観光資源や農産物は）すべてが民間や個人が所有・生産しているものがほとんどで、民間、個人情報の問題はもとより、所有者や生産者を評価する事となり、個々に評価をする事は極めて困難な事から、検討に至っていない。

■□■ 答弁に対するコメント ■□■

1. 税収の落ち込みについて

結城市においては、他市町村が報道で騒がれるほどの極端な落ち込みがなかったことから、影響も小さいと思われるが、ひもつきの補助金や交付税と異なり、自由に使える自主財源が少なくなるということは、それだけ、自治体の政策的自由度が下がることになるので、引き続き汎用性の高い、自主財源である市税の安定確保を目指してほしい。

また、極端な減収の場合に、後年度に交付税措置される「減収補填債」が発行できるが、国も財政難であることから、交付税措置がなくなり、償還（返済）を地方自治体自身で、と言われることを私は危惧しており、安易に頼るのは危険であると認識している。

2. 市民まちづくり支援センターの設置について

これからの市民と行政の団結した街づくりに欠かせない当該センターの1日も早いスタートが望ましい。街づくりのあらゆるノウハウを集約し、色々な団体に提供する事が、当該センターの最重要機能と考え、人材バンクの設立を要望したが、前向きに検討されるとの事で、是非、実現してほしい。

3. 結城市の地域資源の再発掘について

商品の評価をする際に、ただ長所・短所を評価するだけでは、執行部が危惧する「個人評価」の域を出ない。短所をどう克服するか、どういった展開で短所を長所にできるかまでを検討して、よい商品に仕上げることが「資源の再発掘」であると考えている。

また、私が一番やってほしいのは、このような再発掘を通して、市内のあらゆる物を対象に評価をし、PRできるかを考え、あたらしいもの、いいものをいち早く発見し、他市町村に先駆けて「結城の特産品」として売り出してほしい。二番煎じではなく「他市に先駆けて」を目標に、結城市の新しいPR資源を見つけ出してほしい。

～コラム～ 会派の存在意義

本誌冒頭でも報告したとおり、6/1に、同士の5名の議員と会派「結政会」を設立しました。



無会派となって約1年半、様々な問題でいろいろと議論をした中で政策的な部分、会派としての議会活動のあり方、執行部との政治的な立ち位置の取り方、など、様々な部分で一緒に行動ができると判断して会派を結成しました。

地方議会においては、人事など、多数派工作の手段として会派を結成したり、会派としての政策を表明する機会がないなど、国政において政党がつくる会派と比べて、地方議会の会派は 政治的・政策的 存在意義があいまいになってしまうケースを多数目にしてきました。

この、地方議会における会派の存在意義のあいまいさが、議員が団結し、政策的に執行部と対峙する機会を無くし、自らが、単なるチェック機関に満足してしまう事態を招いているとも感じています。

また、私自身も、無会派から会派所属になるにあたり、自分の理念が、会派の理念で曲げられてしまうことが無いか、十分話し合いながら決断をいたしました。

この新しい仲間と、会派のあるべき姿、存在意義をしっかりと出し、残り2年の議員活動が有意義になるよう、取り組みたいと考えております。

●平成21年 結城市議会 第3回 定例会 日程（案）のお知らせ

| | |
|------------------|-----------------|
| 9月 9日（水）本会議（開会） | 9月17日（木）決算特別委員会 |
| 9月10日（木）一般質問 | （総務委員会 所管分） |
| 9月11日（金）一般質問 | 9月18日（金）決算特別委員会 |
| 9月14日（月）総務委員会 | （産業・建設委員会 所管分） |
| 9月15日（火）産業・建設委員会 | 9月24日（木）決算特別委員会 |
| 9月16日（水）教育・福祉委員会 | （教育・福祉委員会 所管分） |
| | 9月29日（火）本会議（閉会） |

※あくまで案であり、変更となる場合もあります